

園名等選定実績

1 園名等の選定に係る実績について

平成30年度に志津幼稚園（青地町）と山田幼稚園（南山田町）、平成28年に草津保育所（草津三丁目）と中央幼稚園（草津三丁目）、平成27年度に第五保育所（矢橋町）と笠縫東幼稚園（平井三丁目）の認定こども園化にあたり、草津市立認定こども園園名等選定委員会を開催し、園名、園章、園歌の募集を行いました。

	平成30年度 募集時の応募の視点	平成28年度 募集時の応募の視点	平成27年度 募集時の応募の視点
対象園	志津こども園、山田こども園	草津中央おひさまこども園	矢橋ふたばこども園・笠縫東こども園
園名	①わかりやすく、親しみやすいこと ②子どもの育ちへの願いが込められていること	①わかりやすく、親しみやすいこと ②子どもの育ちへの願いが込められていること	①わかりやすいこと ②地域からも親しみやすいこと ③心豊かでたくましく生き、未来をつくる子どもになってほしいとの願いが込められていること
園章	現在の園章を基本とし、中央部分の「幼」の代わりに入るデザインで、「こども」をイメージするもの ※応募に際しては、園章の内側部分だけでなく、外側部分のデザインも可とします。	現在の園章を基本とし、中央部分の「中幼」の代わりに入るデザインで、「こども」をイメージするもの ※応募に際しては、園章の内側部分だけでなく、外側部分のデザインも可とします。	【矢橋ふたばこども園】 ①わかりやすく、親しみやすいこと ②子どもの育ちや学び、子どもの心や思いなどが表現されていること ③心豊かでたくましく生き、未来をつくる子どもへの願いや期待などが込められていること ④地域の自然や歴史などが感じられること ⑤新しいこども園への期待が込められていること 【笠縫東こども園】 現在の園章の中央部分、「幼」の代わりに入るデザインで、「こども」をイメージするもの ※応募に際しては、中に入るデザインだけで構いません
園歌 (歌詞)	委員会の中で、地域の歴史や伝統、現に幼稚園に通われている保護者の親しみやすさ等の観点から園歌（歌詞）の一部のみを変更することと決定されたため、 <u>公募をしていません。</u>	①明るく、親しみやすく、感情豊かな歌詞で、子どもが歌いやすいこと ②子どもの育ちや学び、子どもの心や思いなどが表現されていること ③心豊かでたくましく生き、未来をつくる子どもへの願いや期待などが込められていること ④地域の自然や歴史などが感じられること ⑤新しいこども園への期待が込められていること	【矢橋ふたばこども園】 ①明るく、親しみやすく、感情豊かな歌詞で、子どもが歌いやすいこと ②子どもの育ちや学び、子どもの心や思いなどが表現されていること ③心豊かでたくましく生き、未来をつくる子どもへの願いや期待などが込められていること ④地域の自然や歴史などが感じられること ⑤新しいこども園への期待が込められていること 【笠縫東こども園】 委員会の中で、園歌（歌詞）の一部のみを変更することと決定されたため、 <u>公募をしていません。</u>

2 園名等の選定結果について

(1) 笠縫東こども園

【園名】 応募数 100件

「草津市立笠縫東こども園」

〈選定理由〉（「草津市立認定こども園の園名案について（答申）」より）

地域からの親しみやすさの面から、笠縫東幼稚園という、地域の名称が付けられた園名が長年親しまれている。

また、子どもの育ちへの願いの面から、子どもや保護者に長年歌い継がれてきた園歌があり、その歌詞には育ちへの願いが込められており、園名も含まれていることから、「笠縫東」の名称と現在の園歌が、認定こども園への移行後も引き継がれることが、望ましいと思われる。

これらの地域からの親しみやすさと子どもの育ちへの願いを総合的に勘案し、「草津市立笠縫東こども園」を園名案として選定する。

【園章】 応募数 53作品



〈園章趣旨〉

「子ども」の“子”と「笠縫東」の“か”を組み合わせ、その中に幼児をイメージさせる顔を配して、笑顔があふれる園を表しています。

【園歌】 ※従来の「幼稚園」を「こども園」に変更

<p>笠縫東こども園 園歌</p> <p>作詞・作曲 北島 雅晴</p>	<p>一 あなたもわたしも きみもぼくも 遊ぼう遊ぼう 一緒に遊ぼう みんなの力を 合わせれば 大きな琵琶湖が 作れるよ 笠縫東こども園</p> <p>二 大地の上には 虫も花も みんないっぱい 生きているんだね みんなの気持ちを 合わせれば やさしい心になれるから 笠縫東こども園</p> <p>三 お空の雲が お散歩してる 世界の子どもと あいさつしてる みんなの声を 合わせれば 大空いっぱい ひびくだろう 笠縫東こども園</p>
--------------------------------------	--

〈園歌作成の経緯〉

昭和63年の開園10周年にあたり、当時、笠縫東小学校に勤務されていた北島氏(音楽担当)により作成され、同年10月30日の開園十周年記念式典で初めて披露されました。

(2) 矢橋ふたばこども園

【園名】 応募数 506件

「草津市立矢橋ふたばこども園」

〈選定理由〉（「草津市立認定こども園の園名案について（答申）」より）

地域からの親しみやすさの面から、施設の立地場所である「矢橋」という名称が、地域の公共施設として、相応しいものである。

また、子どもたちの育ちへの願いの面から、「ふたば」は、発芽したときに最初に出る葉であり、ものごとの初めや幼児期を表しており、ひとつの根から2枚の葉が出る様子は、保育所と幼稚園というふたつの機能を併せもつ認定こども園で、子どもたちが協力し合って健やかに育ってほしいとの願いをよく表している。

これらの地域からの親しみやすさと子どもの育ちへの願いを総合的に勘案し、「草津市立矢橋ふたばこども園」を園名案として選定する。

【園章】 応募数 52作品



〈園章趣旨〉

矢橋ふたばこども園の頭文字「や」を丸くデフォルメして、中心にこどもの笑顔を入れることで、こども園の輪を、そして、上の「や」の点にあたる部分を、ふたばに見立て、こどもたちの育ちのふたばと、保育所と幼稚園の二つの機能を併せ持つことを表しています。

【園歌】 応募数 51作品

矢橋ふたばこども園 園歌

作詞 朝倉 修
作曲 若林 千春

一
うたごえそらに こだまして
ひえいのやまも はれている
たのしく げんきに すこやかに
ふたばのように みんなのびようよ
矢橋ふたばこども園

二
とてをつなぎ あそぼうよ
びわこのみずも ひかてる
やさしく つよく たくましく
ふたばのように みんなそだとうよ
矢橋ふたばこども園

三
にこにこえがお あつまれば
きんもくせいも わらってる
なかよく あかるく はつらつと
ふたばのように みんなかがやくよ
矢橋ふたばこども園

〈園歌趣旨〉

比叡山、琵琶湖、金木犀の花など豊かな自然環境の中、みんな楽しく遊び、助け合い、子どもたちが元気に育ってほしいという思いを込めています。

(3) 草津中央おひさまこども園

【園名】 応募数 101件

「草津市立草津中央おひさまこども園」

〈選定理由〉（「草津市立認定こども園の園名案について（答申）」より）

地域からの親しみやすさの面から、草津保育所の「草津」と中央幼稚園の「中央」という名称が、長年にわたり地域に親しまれている。

また、子どもたちの育ちへの願いの面から、「おひさま」は、すべての命を育む象徴であり、おひさまのもと、子どもたちが、元気いっぱいひのびと、あたたかい心をもった人に育ってほしいとの願いや、保護者、保育者、地域の人々の大きな愛とあたたかい見守りをよく表している。

これらの地域からの親しみやすさと子どもの育ちへの願いを総合的に勘案し、「草津市立草津中央おひさまこども園」を園名案として選定する。

【園章】 応募数 81作品



〈園章趣旨〉

「おひさま」と「チューリップ」と「中央」の文字を基調に未来に輝き花咲く草津中央おひさまこども園を象徴的に表現しました。伝統的で、シンプルで、親しみやすく、多くの人々に長く愛されるデザインです。

【園歌】 応募数 園歌 50作品

草津中央おひさまこども園 園歌	
作詞 朝倉 修 作曲 伊藤 康英	
1	ひえいのみねに くもながれ 元気なあいさつ 風にのる 光がいっぱい ゆめいっぱい みんなキラキラ かがやいて 草津中央 おひさまこども園
2	びわこのみずが すみわたり お花もことりも よびかける 仲良しいっぱい 声いっぱい みんなニコニコ ほほえんで 草津中央 おひさまこども園
3	きよいながれの くきつがわ 心をすなおに うつしだす 未来がいっぱい 歌いっぱい みんなボカボカ あたたく 草津中央 おひさまこども園

〈園歌（歌詞）趣旨〉

比叡山、琵琶湖、草津川など、草津中央おひさまこども園の豊かな環境を題材に、草津中央おひさまこども園の子どもたちが楽しく集まり、元気に遊び、心豊かに、未来へ向かい育ってほしいという思いを込めました

(4) 志津こども園

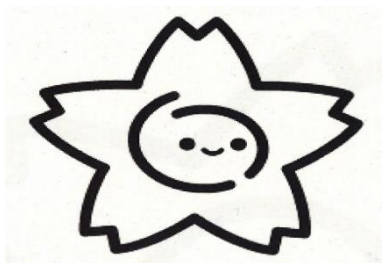
【園名】 応募数 46作品

＜選定理由＞（「草津市認定こども園の園名案について（答申）」より）

志津幼稚園という地域の名称が付けられた園名には歴史があり、地域の方々に長年親しまれてきたものであることから、「幼稚園」を「こども園」に変更することで、分かりやすく、親しみや愛着が持ちやすい園名になると考えられる。

また、幼稚園型の認定こども園として先に開園した「草津市立笠縫東こども園」の園名選定においても同様の変更をしており、幼稚園から幼稚園型の認定こども園に移行した経過もこの名称から見て取ることができる。これらを総合的に勘案し、「草津市立志津こども園」を園名案として選定した。

【園章】 応募数 106作品



＜園章趣旨＞

「しづ」という字を丸みのある形にして子どもらしさを表現し、また、その字をキャラクター化して桜の中で微笑んでいるようなデザインにすることで、子どもたちの笑顔が溢れるようにとの願いを込めています。

【園歌】

※従来の「幼稚園」を「こども園」に変更

草津市立志津こども園 園歌

作詞 太田 源太郎

作曲 森井 嘉子、福井 恵子

- | | |
|--|---|
| 1. みどり いっぱい はな いっぱい
ひろい おにわで あそびます
ことりと いっしょに うたいます
ぼくも わたしも おともだち
たのしい なかよし しづこどもえん | 2. おひさま にこにこ かおだした
おつむ あつめて かんがえる
たのしい おはなし いただきます
ぼくも わたしも おともだち
げんきな なかよし しづこどもえん |
|--|---|

(5) 山田こども園

【園名】 応募数 51作品

＜選定理由＞（「草津市立認定こども園の園名案について（答申）」より）

山田幼稚園という地域の名称が付けられた園名には歴史があり、地域の方々に長年親しまれてきたものであることから、「幼稚園」を「こども園」に変更することで、分かりやすく、親しみや愛着が持ちやすい園名になると考えられる。

また、幼稚園型の認定こども園として先に開園した「草津市立笠縫東こども園」の園名選定においても同様の変更をしており、幼稚園から幼稚園型の認定こども園に移行した経過もこの名称から見て取ることができる。

【園章】 応募数 園章 82作品

＜決定＞



＜園章趣旨＞

山田幼稚園の「山」という字を基にした図形と丸を重ねることにより、子どもたちやこども園に関わる人々の笑顔を表しています。中心には「山田」を明記し、こども園の名前もわかりやすくしています。

【園歌】

※従来の幼稚園を「こども園」に変更および楽譜の変更

草津市立山田こども園 園歌

作詞 駒井 元悦

作曲 曾根 威彦

(2019年 改訂)

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. わたしらよい子 山田の子 | 2. わたしらよい子 明るい子 | 3. わたしらよい子 素直な子 |
| みんな元気に あつまって | みんな力を よせあって | みんな仲良く 輪になって |
| 小鳥のように うたいましょう | きれいなお花を 咲かせましょう | お手々つないで あそびましょう |
| 楽しい楽しい <u>こども園</u> | 楽しい楽しい <u>こども園</u> | 楽しい楽しい <u>こども園</u> |